農学部3号館4階412号室

家畜繁殖学研究室

動物科学科

教員：橋爪　　力

研究テーマ：家畜の生殖生理と内分泌調節に関する研究

家畜殖学研究室では、主として動物の生殖を支配しているホルモンの分泌形態、分泌機構、生理作用等についてウシ、ヤギ、ヒツジ、ブタ等の家畜を用いて研究しています。21世紀は脳科学の時代とも言われていますが、特に脳の視床下部－下垂体系のホルモン分泌調節機構について研究しています。

主として研究しているホルモンは、視床下部から分泌される性腺刺激ホルモン放出ホルモン(GnRH)、成長ホルモン放出ホルモン (GHRH)、ソマトスタチンと下垂体前葉から分泌される黄体形成ホルモン (LH)、 成長ホルモン (GH)、 プロラクチン (PRL)等です。また性腺から分泌されるエストロジェン、プロジェステロン、テストステロン等についても研究しています。

私達の研究の最終目標は、視床下部－下垂体系のホルモン分泌を人為的に支配する技術を確立し、家畜の生殖を制御したり、家畜の生産性を向上させたりすることです。

ヤギの分娩

ウシを使った脳内への薬物投与実験

成長ホルモンの分泌を高め、ウシの卵子生産を向上させようとした実験

研究室で生まれた子ヤギ達

ヒツジの脳内還流実験

－研究室公開では－

- 精子と卵子の出来る過程を観察します。
- 凍結、融解したウシの精子を観察します。
- 家畜の人工授精器具を展示します。
- 家畜の生殖に関するスライドをお見せします。

研究内容の詳細は**ホームページ**をご覧ください。
(URL: http://sp2.cc.iwate-u.ac.jp/~hashi/)